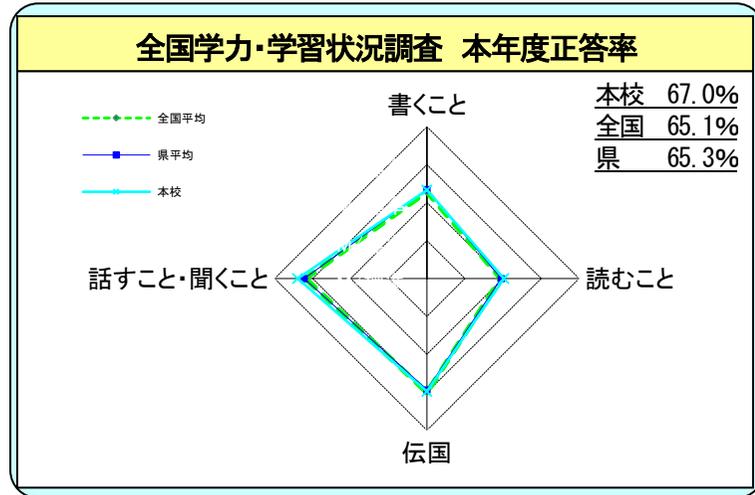


指導方法等の改善計画について〔国語科〕



重点課題

【課題1】「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる」問題（2設問一）の正答率が22.7%である。文末表現の工夫や、段落相互の関係を捉えることに課題がある。

【課題2】「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる」問題（3設問四）の正答率が25.0%、無答率が4.5%である。ものの見方や考え方が表れている部分を明確にすることや、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】文章構成や段落のつながり、事実と意見を区別しながら文章を読んだり書いたりすることを指導していくとともに、書いた文章を互いに読み合い、根拠や表現の仕方など、観点を明確にして交流する場面を設定する。

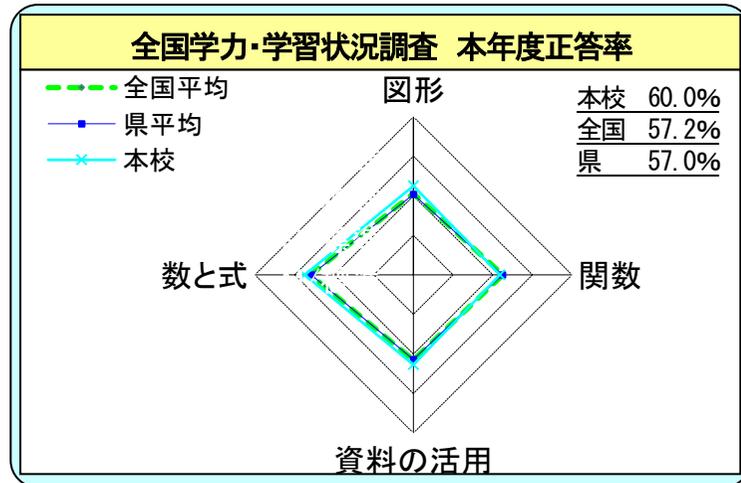
【課題2】文脈の中における語句の意味を理解しながら文章を読むことや、文章に表れている見方や考え方を捉えながら読むことを指導していくとともに、自分の意見を書く学習を継続して行う

※ 小中一貫した取組については、どの教科でも条件を付けて記述で表現させる活動を取り入れる。複数の資料から、目的に応じて必要な情報を選択して表現する活動を通して、思考力・判断力・表現力を高める。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 2学期期末試験		3年生 3学期学年末試験		
目標値			60%		70%		
実施後数値			69%		79%		
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 2学期期末試験		3年生 3学期学年末試験		
目標値			60%		70%		
実施後数値			71%		81%		

来年度に向けて

段落のつながりや、事実・意見・根拠を区別しながら文章を読ませることを徹底させていきたい。文脈の中で、語句の意味を確実に理解させながら読ませることで語彙力を高めていきたい。また、文章を読み、条件を付けて自分の意見を書かせ、観点を示して交流させることで表現力を高めていきたい。



重点課題

- 【課題1】「関数の意味を理解しているかどうかをみる」問題 (4) において、正答率が36.4%であり、全国平均の48.0%を下回っている。2つの数量の関係についての的確に捉えることに課題がある。
- 【課題2】「数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかをみる。」問題 (6設問三) において、正答率が20.5%であり、全国平均の30.3%を下回っている。数に関する事象を考察する場面で、筋道を立てて考え、さらに発展的に深めて説明することに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】問題解決の過程で、技能的な解決に偏るのではなく、数学用語の意味や使い方を確認することを通して、数学的な表現を用いて説明する場面を作っていく。
 - 【課題2】数の関する事象を考察する場面で、規則性を見いだせる習慣をつけるとともに、与えられた問題の条件を変えるなどして、問題を発展的に考察することができる場面を作っていく。
- ※ 小中一貫した取組については、自ら課題を見付け、習得した知識・技能を活用したり、図と式を関連付けながら根拠を挙げて説明したりする活動を通して、数学的な思考力・判断力・表現力を高める。

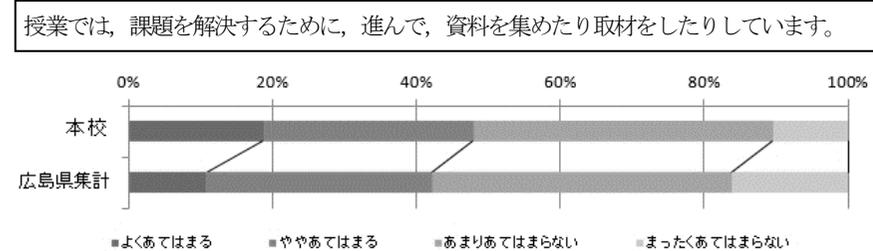
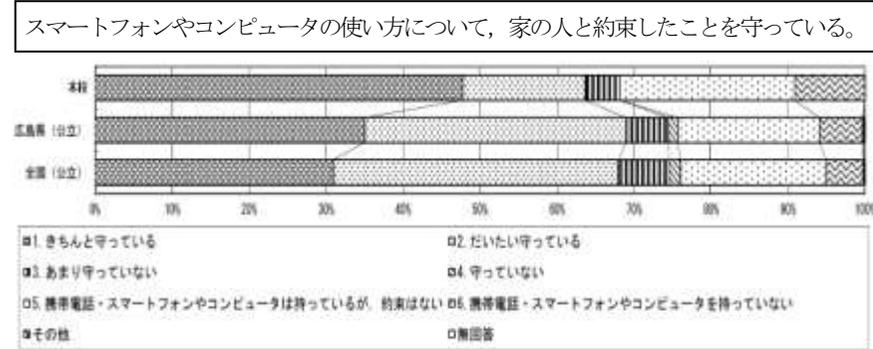
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 2学期期末試験		3年生 3学期学年末試験		
目標値			70%		70%		
実施後数値			70%		80%		
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 2学期期末試験		3年生 3学期学年末試験		
目標値			70%		70%		
実施後数値			55%		62.5%		

来年度に向けて

数学的な表現を向上させるために、用語の意味の的確な理解を徹底させたい。その上で、自らの考えを表現させる場を多く持たせ、簡潔・明瞭な数学的表現を常に意識させ、それに慣れさせていきたい。

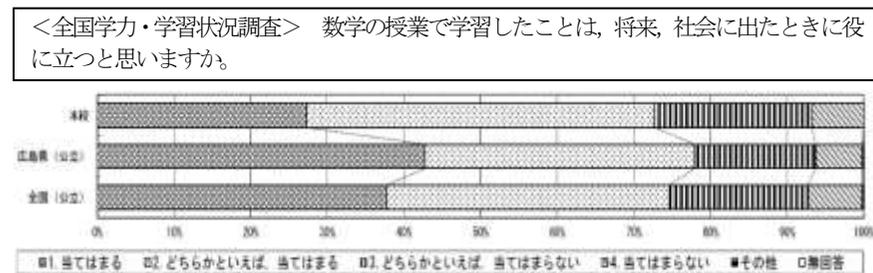
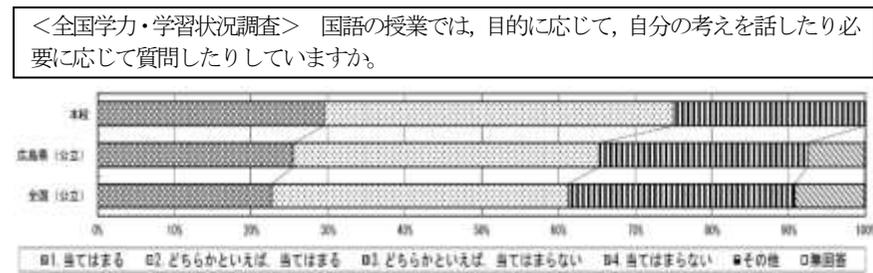
質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習



	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国	「スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。」の質問に対して、肯定的評価が63.6%であった。	ICT 担当者や生徒会によるタブレットのルールと情報モラルについて啓発活動をする。学校通信や学年通信による呼びかけを実施する。	3年	75%以上	生徒質問紙調査	2月	90.9%
学習意識等	「授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。」の質問に対して、肯定的評価が47.9%であった。	本年度から生徒に一台ずつタブレットが支給されているので、どの教科でも授業の中で調べる機会をつくり、資料集めをしたり、総合的な学習の時間に取材をしたりする機会を設ける。	2年	75%以上	生徒質問紙調査	2月	80.0%

(2) 教科



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。」の質問に対して、肯定的評価が61.3%であった。	伝える目的や相手意識を明確にして話すことを指導していく。授業の振り返りを通してメタ認知をさせる。	3年	75%以上	学習状況を調査するアンケート	2月	91.2%
全国・学習意識等	「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」の質問に対して、肯定的評価が72.8%であった。	授業の中で、数学の持つ価値、有用性などを、各領域の問題を通して、伝えていく。	3年	80%以上	単元終了時の自己評価	2月	82.3%